



# 旅のエコ術 15 のヒント

いつもの旅のスタイルをちょこっと変えるだけで、地球にやさしいエコ旅へと早変わり!

**準備編 1**  
旅のリサーチはインターネットで。  
必要な地図や情報だけをプリントアウトし、旅行後はメモ用紙に。

**2**  
地球にやさしいエコホテルを。  
ゴミや排水のリサイクル、自然エネルギーの利用など、環境に配慮した宿泊施設をチョイス。

**3**  
マイアメニティを持参。  
使い慣れたものを使え、ゴミも出さず済む。マイ箸&エコバックもお忘れなく!

**4**  
車載の荷物を減らす。  
車重が軽いと燃費が良くなるので、バスやタクシーの燃料消費削減に効果的。CO2排出削減にも。

**5**  
電気製品のコンセントを抜けるだけ抜く。  
待機電力の削減になるし、電気代の節約にも。

**6**  
カーテンを閉めていく。  
外出時はカーテンを閉めて日差しを遮断。

**7**  
バスや電車を利用する。  
飛行機や自家用車ではなく、バスや電車などの公共交通機関を利用してCO2排出削減を。

**8**  
乗り合わせて移動する  
公害を減らせるし、渋滞も緩和する。ちなみにタクシーやレンタカーはハイブリッド車で。

**9**  
滞在編  
うちエコを宿泊先でも。  
自宅ですいているエコ活動は宿泊先でもしよう。

**10**  
観光編  
地元ガイドとともに。  
その地域の自然と文化をより理解できるし、地域経済も支援できる。

**13**  
地域住民に迷惑をかけない。  
田や畑に勝手に入ったり、ゴミを捨てたりしない。

**15**  
旅行最終日編  
地場産のおみやげを。  
旅の思い出話に花が咲くし、地域経済を支援できる。エコバックに詰めて帰りましょう。

**11**  
植物や花を採取しない。  
踏みつけたりしないように、遊歩道を歩こう。

**12**  
動物に餌を与えない。  
野生動物に近づいたり、餌を与えたりしないように。

**14**  
郷土料理を食す。  
旅の醍醐味でもあるし、地域経済を支援できる。持参したマイ箸でいただきます。



“地球にやさしい旅人”を目指して——

## この秋は、エコ旅しよう!

手軽にできる「旅のエコ術」から、本格的な「エコツーリズム」まで、行楽の秋におすすめしたいエコ旅のあれこれをご紹介します!



あなたは旅をするとき、**エコ**を意識したことがありますか?

エコへの関心が高まる今日、「旅」のありかたもさまざまなエコスタイルへとシフトしてきています。今最も注目されている「エコツーリズム」は、旅先の環境や資源に配慮した、旅の新しいスタイル。地域の人々、文化にふれ、心と体で自然を感じることで、目で見るより、耳で聞くより、環境の大切さがもっと身近に感じられ、もっと地球にやさしくなれるはず。  
心地よい秋日和、エコな旅へと出かけませんか?

「わたしが変わる」  
自然に親しみ、知識や理解を深めることで、環境に配慮した行動へとつながっていく。

「地域が変わる」  
自然や文化など、地域の環境や資源をいかした観光を行うことで、地域が活性化していく。

「みんなが変わる」  
自然環境や歴史文化を守り、未来に継承していく活力ある持続的な地域となっていく。

- 自然環境の保全
  - 観光振興
  - 地域振興
  - 環境教育への活用
- エコツーリズムの目的・効果

### エコツーリズムって何!?

地域の人々との交流を通じて、自然に親しみ、学び、楽しむとともに、地域の自然環境や歴史文化の保護に配慮する新しい観光スタイル。「環境保全と地域振興の両立が持続的に可能」として注目され、日本では1990年代後半から活発化してきました。

### エコツアーに参加しよう!

エコツアーとは、エコツーリズムの考え方に基づいて実践されるツアーのこと。  
その地域の自然と文化を熟知した地元ガイドとともに散策したり、体験したりしながら、自然に親しみ、環境保全につなげていく。現在、多くの旅行会社が海山川湖などを舞台にさまざまなエコツアーを実施しています。



人、自然、文化にふれ、環境への関心を高める機会。お子さまぜひ一緒に!

### COLUMN

#### エコ村発見!

#### ガソリン車では入村不可!! スイスの山岳リゾート、ツェルマツト



アルプス三大名峰の一つ、マッターホルンの麓に位置するツェルマツトは、スイス屈指のアルペンリゾート。アルプスの自然保護のために、村ぐるみで環境に配慮した観光地づくりを行い、住民はもちろん、旅行者にもガソリン車での村内乗り入れを禁止している。村内の交通手段は、徒歩、自転車、馬車、そして許可を受けた電気自動車のみ。車による排気ガスも騒音もないこの村の豊かな自然と清らかな空気は、訪れる人の心を静かに癒してくれます。地域住民と旅行者が「丸」な共生に取組んでいる姿勢を私たちも見習いたいものです。